



東光株式会社 SDGs宣言

当社は、「“義の和は利なり”」という経営理念のもと、
事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、
地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022年3月29日

東光株式会社

代表取締役 山崎 純一



重点項目(ターゲット2030)

未来を開く新技術の提供

世界でこれまで成し得なかった水の有効利用技術と経験で多様なニーズにお応えします。自社で開発した磁気水処理装置、『産業用 無雑』『家庭用MUZO』により給水管及び冷却塔の水垢、細菌、錆、藻を除去し長寿命化、省エネルギー化、省力化等に多大な貢献をしております。

【主な取り組み】

山口東京理科大学との共同研究
取引先情報に関する適正管理
商品特許の取得

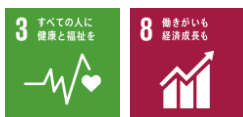


働きやすい職場環境作り

少数精鋭の企業として、経営と従業員との間で活発なコミュニケーションを図ります。相談しやすい風通しの良い職場の整備に取り組んでまいります。

【主な取り組み】

従業員の要望を都度確認
定期的な健康診断実施
定期的に従業員との対話の場を創出



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



事業を通じた環境負荷の低減

環境問題を研究課題の一つとして捉え、事業活動における環境負荷の軽減に努めます。当社が製作する『無雑』により、冷却塔装置で薬品が不要となり、自然への排水が容易となります。有害物質を使用・排出せずに、冷却塔の経済運転をサポートします。『無雑』を通じて水質汚濁、大気汚染等の環境問題解決に貢献してまいります。

【主な取り組み】

マンションの給水管長寿命化
冷却塔の長寿命化
河川、海水を汚染から守る環境保護



信頼される企業

顧客情報の保護や組織体制の構築、コンプライアンスの遵守に努めます。今後もお客様からの信頼醸成に力点を置き、ガバナンス強化に取り組み、ステークホルダーの皆様から信頼される企業を目指してまいります。

【主な取り組み】

個人情報保護方針についてHP掲載
法令遵守、海外取引における商慣習への配慮



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。